

2025 年 10 月の東京都食中毒発生状況（速報値） 10 月 31 日現在

10 月の食中毒速報値が東京都から発表されましたのでご紹介します。

10 月 31 日までに報告がされた食中毒は、発生件数 5 件、患者数は 44 名でした。

なお、9 月の発生状況は速報値でカンピロバクター食中毒 3 件、患者数は 12 名でしたが、10 月末の時点で 5 件、18 名と報告されています。9 月分として 10 月に入ってから報告があったのは 2 件で、家庭が原因の黄色ブドウ球菌食中毒と原因施設が不明のアニサキス食中毒がそれぞれ 1 件ずつでした。

1 事件数（10 月までの累計）

117 件（2024 年同期 101 件、2023 年同期 115 件、最近 10 年間の同期 108 件）

2 患者数（10 月までの累計）

1,127 名（2024 年同期 1,432 名、2023 年同 706 名、最近 10 年間の同期 1,469 名）

3 死者数（10 月までの累計）

0 名（2024 年同期 0 名）

4 月別食中毒発生状況

（1）2025 年月別発生状況（速報値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
件数	12	26	13	14	10	10	15	7	5	5			117
患者数	84	395	101	251	53	42	113	26	18	44			1,127

（2）2024 年月別発生状況（確定値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
件数	19	15	12	10	8	7	10	5	7	8	4	9	114
患者数	628	217	95	51	86	32	144	34	22	123	32	72	1,536

（3）2023 年月別発生状況（確定値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
件数	9	8	14	11	12	17	15	9	11	9	11	11	137
患者数	114	90	41	111	40	154	63	25	39	29	49	123	878

（4）最近 10 年間の月別発生状況（2023 年までの平均値）（確定値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
件数	11	12	14	10	9	12	11	9	10	10	9	10	127
患者数	235	250	107	154	75	93	66	343	66	81	77	142	1,688

5 病因物質別発生件数

10月に発生したウエルシュ菌食中毒は、弁当屋さんが調製した「チキンオーバーライス弁当」というものが原因食品でした。

チキンオーバーライス弁当をAIに聞いたところ、「スパイシーなグリルチキン、野菜、そしてライスを組み合わせたニューヨーク発祥の屋台料理を弁当にしたものです。ガーリックバターライスやターメリックライスの上に、チキンと野菜（トマト、レタス、ブロッコリー、人参、ポテトなど）が乗せられ、特製のチリソースやヨーグルトソースをかけて食べるのが特徴です。」という回答でした。この中でウエルシュ菌が増殖しそうな食品はチリソースやヨーグルトソースですが、詳細は不明です。

		令和7年（2025年）				令和6年（2024年）					
		10/1～10/31		累計(10/31まで)		10/1～10/31		累計(10/31まで)		累計(12/31まで)	
		件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)
ウイルス	ノロウイルス	2	20	40	766	1	67	32	1,002	36	1,056
	A群ロタウイルス			1	17						
細菌	カンピロバクター			24	129	6	47	23	136	26	152
	黄色ブドウ球菌			2	57	1	9	2	26	2	26
	ウエルシュ菌	1	22	4	66			6	156	7	164
	セレウス菌			1	7			1	38	1	38
	サルモネラ			2	15			1	3	1	3
	腸管出血性大腸菌			3	15			1	4	2	7
	ボツリヌス菌										
	赤痢菌							1	12	1	12
	カンピロバクター及びサルモネラ							1	4	1	4
寄生虫	アニサキス	2	2	37	38			31	31	34	34
	クドア・セブテンブクタータ							1	18	1	18
化学物質	ヒスタミン									1	20
	次亜塩素酸ナトリウム							1	2	1	2
自然毒	植物性自然毒			2	3						
	動物性自然毒										
不明				1	14						
合計		5	44	117	1,127	8	123	101	1,432	114	1,536

6 原因施設別発生件数

原因施設は、すべて飲食店営業でした。

		令和7年（2025年）				令和6年（2024年）					
		10/1～10/31		累計(10/31まで)		10/1～10/31		累計(10/31まで)		累計(12/31まで)	
		件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)
飲食店	一般	5	44	92	793	7	56	78	892	88	967
	仕出し			1	130	1	67	1	67	1	67
	そうざい										
	自動車										
集団給食	要許可			3	96			5	246	7	274
	届出							2	86	2	86
魚介類販売業				3	3			4	4	4	4
そうざい製造業				1	52						
家庭				1	5			3	3	3	3
臨時出店								1	80	1	80
その他				3	27			2	38	2	38
不明				13	21			5	16	6	17
合計		5	44	117	1,127	8	123	101	1,432	114	1,536

(注)飲食店の「一般」には、一般飲食店、すし屋、弁当屋、そば屋を含む。

7 食中毒のことや発生状況についてもっと知りたい方は

(1) たべもの安全情報館 知って安心～トピックス～(東京都保健医療局)

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin//anshin_topics.html

(2) 東京都の食中毒発生状況

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin//tyuudoku/index.html>

(3) 全国の食中毒発生状況 (厚労省)

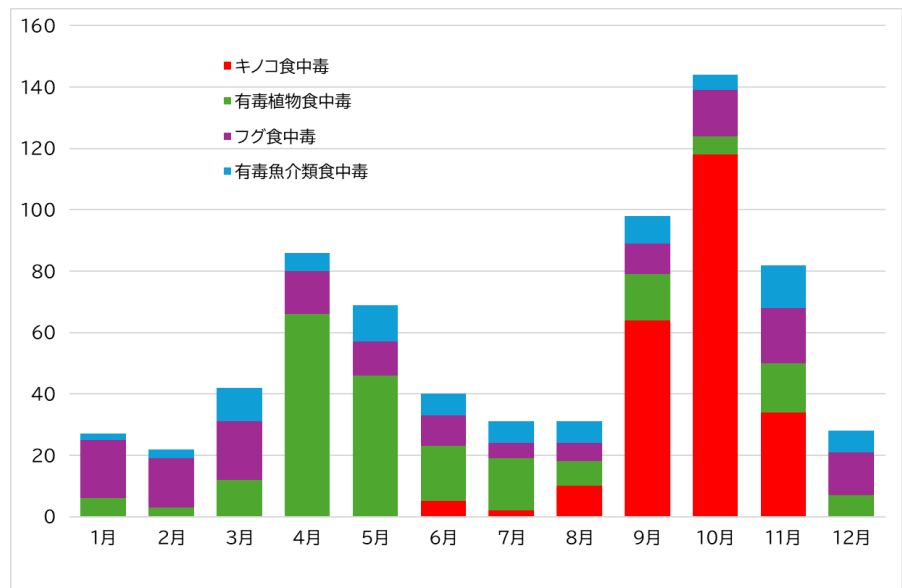
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html

8 元食品衛生監視員のつぶやき

例年、有毒キノコによる食中毒が多数発生しています。

有毒キノコの食中毒を含めたいわゆる自然毒の月別の発生件数について、過去10年分を集計してグラフに示しました。

すぐにわかるのは、春は有毒植物による食中毒、9月から11月にかけては有毒キノコによる食中毒が多いことです。



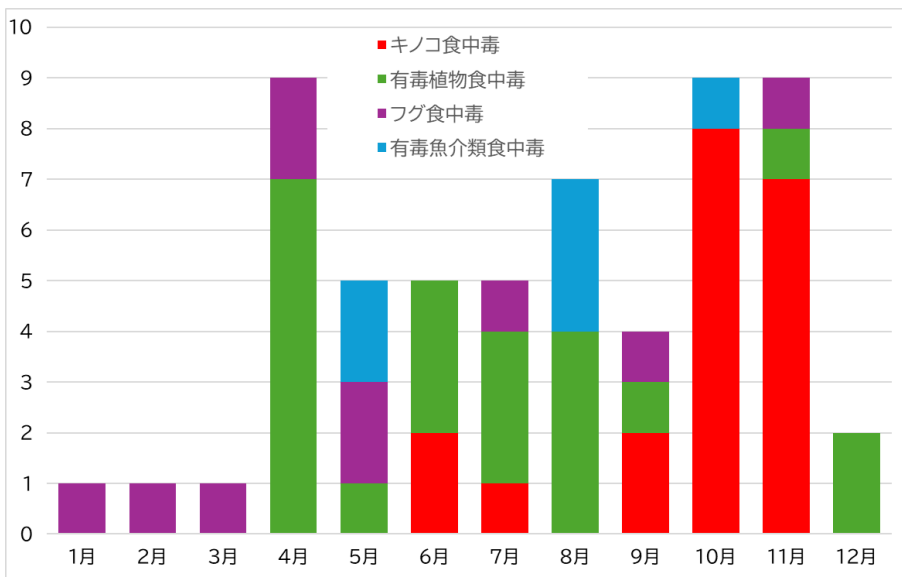
10年間で有毒キノコ食中毒は233件発生していますが、キノコの種類で最も多かったのはツキヨタケ(98件)、ついで不明(44件)、クサウラベニタケ(26件)、テングタケ(14件)、オオシロカラカサタケ(10件)などとなっています。

昨年1年間の自然毒食中毒を見ると、右のグラフのようになります。

食中毒は年による変動が多いのですが、春の有毒植物、秋の有毒キノコという傾向は変わりません。

そして、今年ですが、日本中でキノコ狩りの季節とクマの出没が重なってしまいました。

たとえば、次のような報道がされています。



●キノコ狩りシーズン クマに注意を(山形放送 10月6日)

●キノコ採りをしていたらクマと目が合い急に突進…持っていたナタで応戦 福島・檜枝岐(福島中央テレビ 10月9日)

- キノコ採りの女性がクマに襲われ死亡 別の女性も行方不明に 全国で相次ぐクマ被害 対策は？
(FNN プライムオンライン 10月16日)
- クマに襲われ死亡した女性と共に入山 女性いまだ行方不明 宮城・栗駒山 (東日本放送 10月17日)
- 群馬・みなかみ町、クマに襲われキノコ狩り男性重傷 8キロ先の路上でも (日本経済新聞 10月18日)
- クマにかまれたような痕 キノコ採り女性 遺体で発見 秋田でクマ被害相次ぐ (ABEMA NEWS 11月3日)

キノコ狩りは有毒キノコの心配以上にクマに警戒しなければならない状況になっています。

そこで、クマによる影響が出ているのかを昨年と今年の9月以降の有毒キノコによる食中毒結果の発生をインターネット等による情報から拾って比較しました。

今年の11月分については上旬のデータしかありませんので単純に比較はできませんが、昨年と大きく異なるという状況ではないようです。

	2025年				2024年			
	9月	10月	11月	合計	9月	10月	11月	合計
ツキヨタケ		6	2	8	1	4	5	10
クサウラベニタケ		1		1				
ドクササコ		1		1			1	1
オオシロカラカサタケ					1	2		3
シロオニタケ						1		1
テングタケ						1		1
種別不明							1	1
合計	0	8	2	10	2	8	7	17

今後、11月全体の結果が出てくると異なる結果となるかもしれませんが、少なくとも10月までは有毒キノコによる食中毒への影響は見られない印象です。

キノコ狩りは、秋の楽しいイベントだと思いますが、くれぐれも有毒キノコには注意をしていただきたいと思います。

また、クマに取ってもキノコは好物のようです。クマとの競合だけは避けていただきたいと思います。